

＜早稲田大学総合人文科学研究センター＞

「行動・社会・文化に関する多角的アプローチ」部門主催

2014 年度第 2 回勉強会

《出版記念シンポジウム》

「人間関係の生涯発達心理学－自己／他者／意味との出会い」

人間の心は、自己／他者／意味が発現し、それらが豊かな表象活動をとおして分化統合され続ける。この人の心を、4つの発達期に出現する人間関係の視点から検討する。

日時：2014 年 10 月 11 日（土）13:00－15:30

場所：早稲田大学文学学術院（戸山キャンパス）36 号館 6 階 682 教室

対象：学部学生、大学院生、教職員、学外一般者（入場無料・予約不要）

司 会：大藪 泰（早稲田大学文化構想学部）

発表者と演題：

大藪 泰（早稲田大学文化構想学部）

「乳児が意味世界に出会うとき」

林もも子（立教大学現代心理学部）

「思春期の始まりにおける孤独の意味」

小塩真司（早稲田大学文化構想学部）

「青年から成人へ－人間関係や自己の広がりと変化－」

福川康之（早稲田大学文学部）

「ライフサイクルにおける老年期の機能と適応」

＜協賛＞丸善出版株式会社／早稲田大学心理学会

連絡先：日野泰志 (hino@waseda.jp)